※施工される方へお願い：必ず本書を御施主様へお渡しください。

201404

必ずお読みください

お施主様用

# “オーダーメイド”
# シマウマブックシェルフ大・小
# シマウマ洗濯機上収納 / シマウマリビングデスク
# 取扱説明書


発売元 JK GROUP
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで
製造元 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

| | | |
|---|---|---|
| 北海道・東北営業グループ | TEL(087)825-3632 | FAX(087)825-3695 |
| 関東甲信越営業グループ | TEL(087)806-3660 | FAX(087)825-3645 |
| 首都圏営業グループ | TEL(087)825-3621 | FAX(087)825-3645 |
| 中部営業グループ | TEL(087)825-3622 | FAX(087)825-3646 |
| 近畿営業グループ | TEL(087)825-3623 | FAX(087)825-3647 |
| 中四国営業グループ | TEL(087)825-3624 | FAX(087)825-3648 |
| 九州営業グループ | TEL(087)825-3625 | FAX(087)825-3649 |
| 特需営業グループ | TEL(087)825-3662 | FAX(087)825-3669 |
| 新規需要開拓グループ | TEL(087)825-3631 | FAX(087)825-3659 |


**⚠ご注意** ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

## 安全上のご注意

製品の品質劣化や人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

必ずお守りください

誤った取り扱いをした時に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

**⚠注意** 傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

お守りいただく内容を図記号で説明しています。（下記は図記号の例です）

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

## ⚠注意

禁止

**● 製品の上に乗らない。**

棚板やカウンター、引出し、スライドテーブルなどに乗らないでください。破損・転倒・落下してケガをするおそれがあります。

**● ハンガーパイプやスライドハンガーに耐荷重の目安以上の重量物を吊るさない。人がぶらさがらない。**

ハンガーパイプやスライドハンガーが破損したり、落下してケガをするおそれがあります。
**（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください。）**

**● 樹脂棚板・可動棚板・固定棚板に耐荷重の目安以上の重量物を置かない。**

重量物を置くと棚板が変形・破損したり、落下してケガをするおそれがあります。
**（裏面「耐荷重の目安：アートランバー・シェルホワイト」をご参照ください。）**

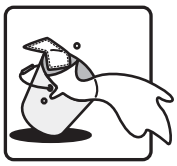
**● 扉開閉の際は、取っ手を持つこと。**

扉の開閉は取手を持って正しく行なってください。指をはさんでケガをするおそれがあります。特に小さなお子様は充分ご注意ください。

必ず守る

**● 耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。**
**（裏面「耐荷重の目安」をご参照ください。）**

## ご使用上のお願い



**● 製品に直接水をかけない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
※樹脂棚板はとりはずして水洗いができます。
（ただし、必ず乾燥させてから取り付けてください。）

**● 粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。

**● 蒸気のでる家電製品などを使用する際は、スライドテーブルを必ず引出す。**

蒸気のでる家電製品や熱源の露出した器具（電気コンロなど）を収納したまま使用しないでください。変形、変色の原因になります。

**● 傘・レインコートや食器類など、濡れた状態で収納しない。**

表面化粧のはがれや反りの原因となります。
必ずよく乾燥させてから収納してください。

**● 水や油などが付着しないようにしてください。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色などが発生するおそれがあります。

**● 扉や取手に荷物を掛けない。**

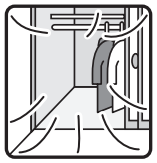
扉や取手に重量物をかけないでください。
破損や落下のおそれがあります。

## お手入れ

● **日常のお手入れ方法**
乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

● **樹脂棚板のお手入れ方法**
水洗いをした後、しっかりと乾燥させる。



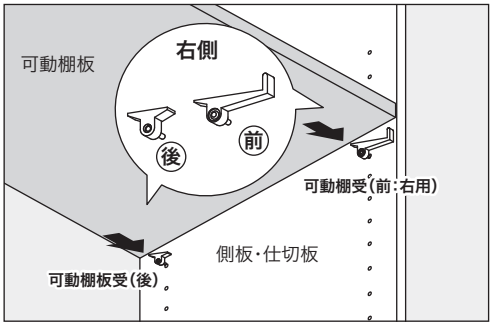
● **換気をする。**
収納内部には湿気がこもりがちになり、結露やカビの発生原因となるため、時々内部の収納物を出し、充分な換気を行なってください。

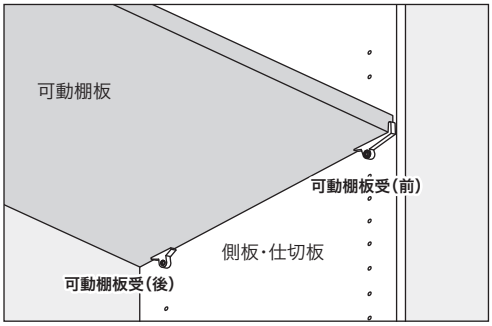
## 可動棚板の取り付け

**可動棚板を設置する箇所に可動棚受のピンをダボ穴に差し込み、可動棚板をのせてください。**

**※可動棚受(前)は形状が左右で異なりますのでご注意ください。**

**※使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。**



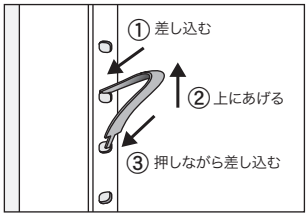




## 棚柱セットの取り付け・取り外し 指つめ注意!

**お好みの位置に棚受を取り付けてください。**

**取り付け方**

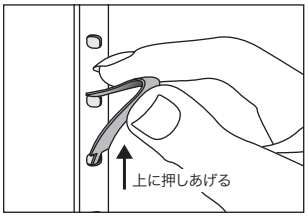
**①棚受の上側を差し込み、**
**②棚受を上にあげた状態で**
**③下側を棚柱の穴へ押しながら差し込む。**




**取り外し方**

**棚受の下側を上に押しあげて取り外す。**

**※ケガをしないよう充分注意してください。**

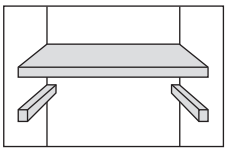



## 耐荷重の目安

**■アートランバー・シェルホワイト** たわみ試験より算出した棚板荷重の目安(単位:kg)

| 厚み | 15mm厚 [芯材]集成材 | | | | 20mm厚 [芯材]集成材 | | | | 27mm厚 [芯材]集成材 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 奥行(mm) | 300 | 450 | 600 | 910 | 300 | 450 | 600 | 910 | 300 | 450 | 600 | 910 |
| 間口910mm | **10** | **15** | **20** | **30** | **25** | **40** | **60** | **85** | **70** | **105** | **130** | **185** |

試験方法:2方受



**ご注意**

- 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
- 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。 ※間口が910mmよりも広い棚板については、必ず方立もしくは束を施工してください。
- 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いします。
- この荷重の目安は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。
  **従来よりご案内しておりました荷重値の目安値と差がありますが、より実用的で高い安全性を確保した結果ですので、ご了承ください。**
- 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重値を確認の上、より小さい値を耐荷重の目安値としてご認識ください。
  ※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重値に準じます。

**■その他パーツ**

| パーツ | 耐荷重の目安値 |
|---|---|
| 棚柱セット(棚板1枚・棚柱4本・棚受4個の場合) | **50kg** ※1 |
| スライドテーブル | **30kg** |
| フレーム引出し(1段あたり) | **10kg** |

| パーツ | 耐荷重の目安値 |
|---|---|
| 樹脂棚板 | **3kg** |
| ハンガーパイプ | **50kg** ※2 |
| スライドハンガー | **5kg** |

**ご注意**

※1
棚柱セットの荷重の目安は上に載せる棚板の荷重の目安とたわみ量により制限されます。
アートランバー・シェルホワイトをご使用になる場合は、上記をご覧ください。

※2
パイプ長さ(またはブラケットピッチ)が1000mm以下の場合で算出しています。

※数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

## 住宅部品表示ガイドラインによるホルムアルデヒド発散等級

●商品名：オオ
●製造者：南海プライウッド（株）
●F☆☆☆☆
●住宅部品表示ガイドラインによる
●ロット番号：梱包に表示
●構成材料

※本登録は全て材料に関する登録です。

| 製品分類 | | | 表示区分 | 認定機関 | 認定番号 | （一社）日本建材・住宅設備産業協会自主表示登録番号※ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| アートランバー（シェルホワイト） | 天板・溝付天板・側板・仕切板・棚板・固定棚・背板・蓋・カウンター・幕板・台輪 | | F☆☆☆☆ | ― | ― | K-000091 |
| フレーム引出し | 引出し | 前板 | F☆☆☆☆ | ― | ― | K-000091 |
| | | 底板 | F☆☆☆☆ | 日本合板検査会 | JPIC-DW50 | ― |
| | | 側板・先板 | F☆☆☆☆ | 国土交通省 | MFN-1652 | ― |
| | フレーム本体 | | F☆☆☆☆ | 日本工業標準調査会 | 773004 | ― |
| 木質カウンター | 集成材 | | F☆☆☆☆ | 国土交通省 | MFN-2432 | ― |
| メラミンカウンター | | | 規制対象外 | ― | ― | ― |
| 木質扉 | MDF | | F☆☆☆☆ | 日本工業標準調査会 | JQNZ0201 | ― |
| | 接着剤 | | F☆☆☆☆ | 日本接着剤工業会 | JAIA-007826 | ― |
| 受木・受桟・扉取付枠 | | | 規制対象外 | ― | ― | ― |

●お問合わせ先：TEL 087-825-3615　FAX 087-825-3619

201404

# オーダーメイド
# シマウマ ブックシェルフ(大)

施工業者様用

# 施工説明書 必ずお読みください


発売元
JK GROUP
〒136-8405 東京都江東区新木場1-7-22
新木場タワー11F
TEL 03-5534-3716 FAX 03-5534-3856

●製品に関するお問い合わせはこちらまで
製造元 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

| | | |
|---|---|---|
| 北海道・東北営業グループ | TEL(087)825-3632 | FAX(087)825-3695 |
| 関東甲信越営業グループ | TEL(087)806-3660 | FAX(087)825-3645 |
| 首都圏営業グループ | TEL(087)825-3621 | FAX(087)825-3645 |
| 中部営業グループ | TEL(087)825-3622 | FAX(087)825-3646 |
| 近畿営業グループ | TEL(087)825-3623 | FAX(087)825-3647 |
| 中四国営業グループ | TEL(087)825-3624 | FAX(087)825-3648 |
| 九州営業グループ | TEL(087)825-3625 | FAX(087)825-3649 |
| 特需営業グループ | TEL(087)825-3662 | FAX(087)825-3669 |
| 新規需要開拓グループ | TEL(087)825-3631 | FAX(087)825-3659 |


## 施工される方へ

**施工前に製品をよくお確かめください。**

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認お願いします。

## ⚠ ご注意

●ご使用になる前に必ず「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願い致します。間違った施工・取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工・取り扱いを行った場合については、当社での保証はいたしかねますのでご注意ください。

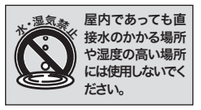
**●施工前に壁面への固定金具の取付位置に、必ず12mm合板以上の下地補強を行なってください。**

●施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。

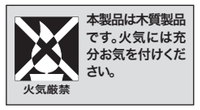
●本製品はフロア施工・クロス貼り後に取り付けてください。

本製品は「内装専用」です。屋外には使用できません。

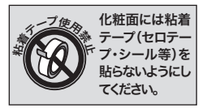
施工時に部材表面の化粧紙を傷付けないようご注意ください。



屋内であっても直接水のかかる場所や湿度の高い場所には使用しないでください。



本製品は木質製品です。火気には充分お気を付けください。



化粧面には粘着テープ(セロテープ・シール等)を貼らないようにしてください。

水・油・インク・薬品等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

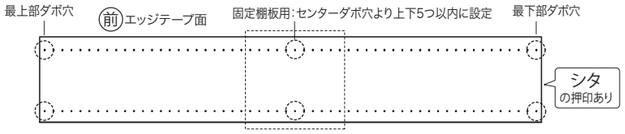
**ご注意 施工前に壁面への固定金具の取付位置に、必ず12mm合板以上の下地補強を行なってください。**

## 基本施工方法<台輪なしプランの場合>

### 1 本体基本ユニットの組立方法

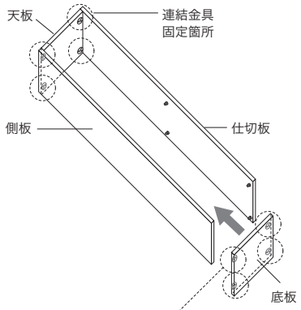
本体基本ユニットの組み立てを行なってください。

❶ 下記に図示した側板6ヵ所のダボ穴に、プラスのドライバーで連結金具の連結用ボルトを取り付けます。
※側板・仕切板には上下があります。下側の木口部分に「シタ」の判子を押しています。




**※仕切板の場合＝両面12ヵ所・表裏同位置に連結用ボルトを取り付けます。**
※連結金具本体（ケーシング）は発送時に製品に装着済です。

❷ 側板・仕切板と天板・底板を固定します。(連結金具での組立方法は下記を参照してください)

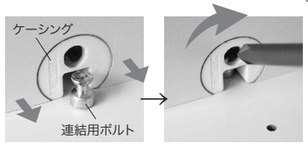


組み立ては横にした状態で行なってください。

**連結金具での組立方法**

側板・仕切板に取り付けてある連結用ボルトとケーシングを結合し、プラスのドライバーを上の穴に差し込み右回しで、90°しめるだけでスピーディに組み立てられます。

ご注意 ねじの回し過ぎは「ねじヤマ」等の破損につながりまのでご注意ください。

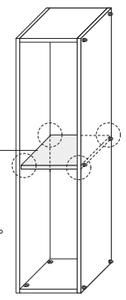


連結ボルトを奥まで差し込み、仮固定します。


右に回して固定してください。

❸ ユニットを起こし固定棚板をセットし、基本ユニットを組み上げます。

ご注意 可動棚板のみの施工はお避けください。必ず中央部に固定棚板を1枚設置してください。
収納全体の寸法精度や強度が保てない可能性があります。

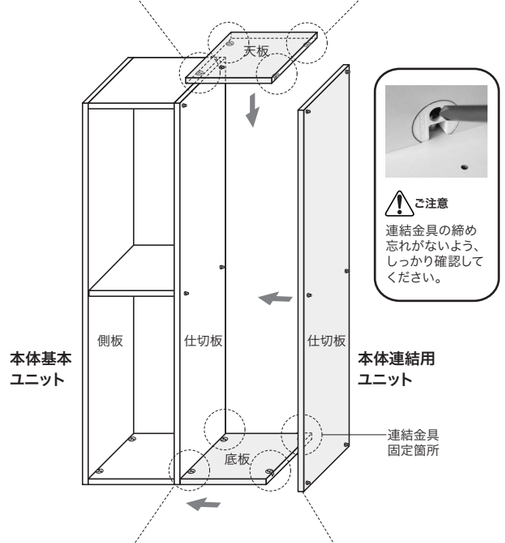



### 2 本体連結用ユニット(2列目以降)の取付方法

2列目以降は下記の手順を反復し、組み立てを行なってください。
天板落下・事故防止のためにも
下記の順番で取り付けを行なってください。

❷ 次に、基本ユニット仕切板と天板を取り付け、固定してください。

❸ 2列目仕切板と天板を取り付け、しっかり固定してください。





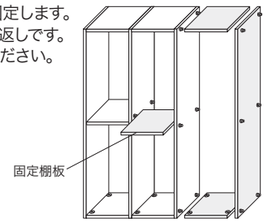
ご注意
連結金具の締め忘れがないよう、しっかり確認してください。

❶ まずは基本ユニット仕切板と底板を取り付け、固定してください。

❹ 最後に2列目仕切板と底板を、しっかり固定してください。

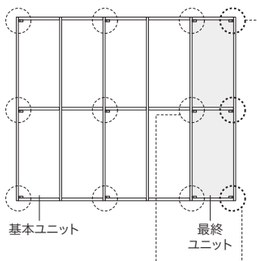
### 3 3列目以降の取付方法

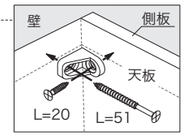
2列目の固定棚板を取り付け固定します。
3列目以降は 2 の手順の繰り返しです。
必要列の取り付けを行なってください。



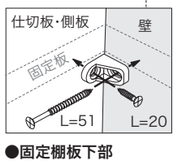

### 4 壁面への固定方法

可動棚を設置する前に、本体を壁面に固定金具で固定します。

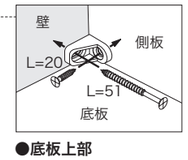



**●天板下部**
[基本ユニット(2セットにつき)]
天板下側…左角1ヵ所
[最終ユニット]
天板下側…左右角2ヵ所



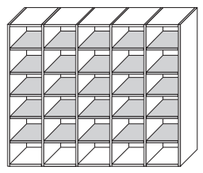

**●固定棚板下部**
[基本ユニット(2セットにつき)]
固定棚板下側…左角1ヵ所
[最終ユニット]
固定棚板下側…左右角2ヵ所

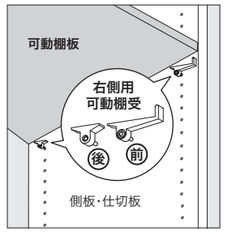



**●底板上部**
[基本ユニット(2セットにつき)]
底板上側…左角1ヵ所
[最終ユニット]
底板上側…左右角2ヵ所

### 5 可動棚板の取付方法

すべての可動棚板を右記の要領で取り付けます。


※棚受には前後・左右用があります。
取り付けの際に、左右の高さが同じになるよう設置してください。




### 6 カバーの取付

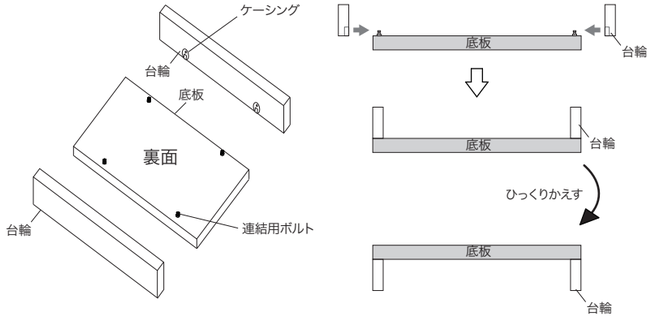
すべての連結金具にカバーを取り付けて完成です。
ぴったりと止まる位置まで押し込んでください。

## 台輪ありプランの場合

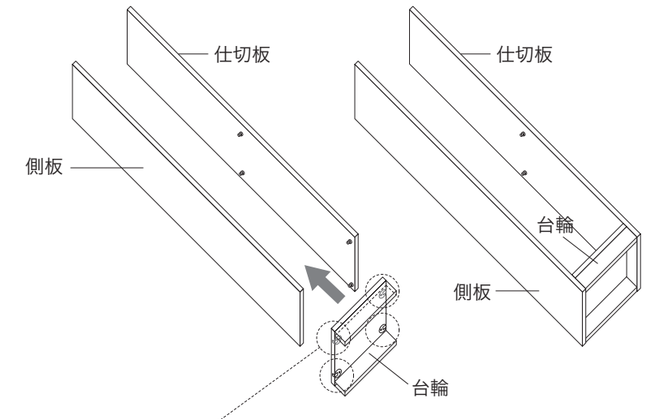
**※施工の順番をお間違えのないようご注意ください。**

**ご注意**
**本体ユニットとの組み立て作業前**に
**必要数すべての台輪を組み立て**ておいてください。

底板裏面のダボ穴にプラスのドライバーで連結金具の連結用ボルトを取り付けた後、台輪を固定します。




側板・仕切板と底板を固定します。

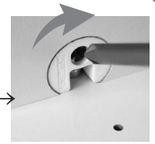



**連結金具での組立方法**

側板・仕切板に取り付けてある連結用ボルトとケーシングを結合し、プラスのドライバーを上の穴に差し込み右回しで、90°しめるだけでスピーディに組み立てられます。

ご注意 ねじの回し過ぎは「ねじヤマ」等の破損につながりまのでご注意ください。

連結ボルトを奥まで差し込み、仮固定します。


右に回して固定してください。